

平成24年行政事業レビューシート

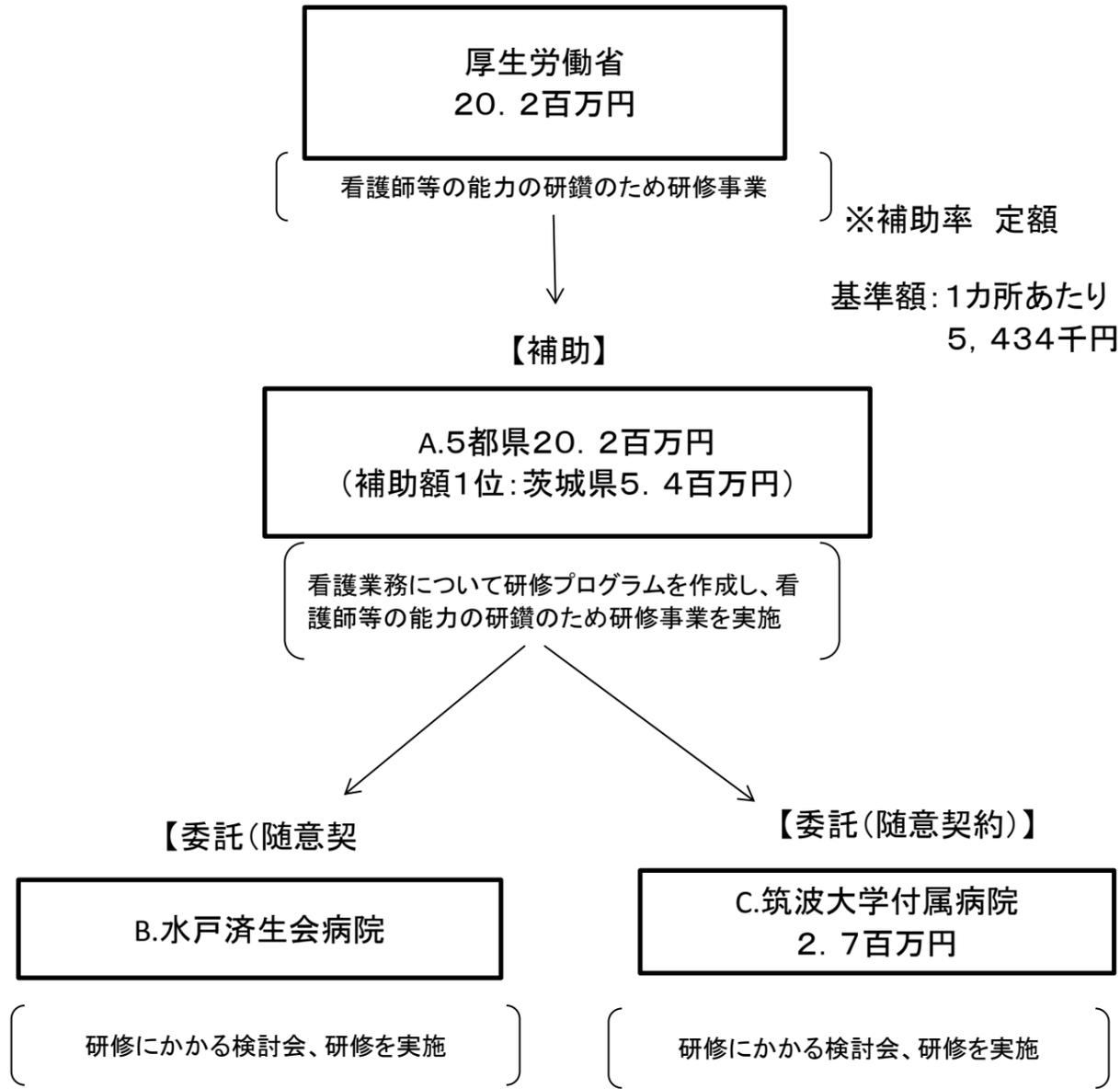
(厚生労働省)

事業名	協働推進研修事業		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	看護課		課長：岩澤和子	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成22年3月24日医政発0324第21号「看護職員確保対策事業等の実施について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成19年12月28日医政局長通知「医師及び医療関係職と事務職員との間等での役割分担の推進について」で示された、専門職がその専門性を発揮するために強化すべき看護業務について、看護師等の研修の場を確保し、チーム医療を推進するための医師と看護師等の協働と連携を推進し、医療提供体制の充実を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県において、薬剤の投与量調節、療養生活指導、インフォームドコンセント、トリアージ等の役割分担が求められる看護業務について研修プログラムを作成し、看護師等の能力の研鑽のため研修事業を実施する。 補助先：都道府県 基準額：5,434千円 補助率：定額						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	350	102	27	250億円の内数	220億円の内数
		補正予算					
		繰越し等					
	計	350	102	27	250億円の内数	220億円の内数	
	執行額	7	24	20			
執行率(%)	2.0%	23.5%	74.1%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	都道府県から事業採択にかかる情報収集に努め、原因分析を行うとともに、チーム医療の下、役割分担を積極的に推進できるようにしていく。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	受講者数	活動実績(当初見込み)	人	545	656 (-)	646 (-)	- (-)
単位当たりコスト	31,294 (円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=X/Y X…補助金の執行額(23年度) Y…受講者数(23年度) 20,216千円/646人			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	補助金	250億円の内数	220億円の内数				
	計	250億円の内数	220億円の内数				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・看護ケアの質の向上が求められる昨今、現在の医療提供体制の確保に必要であり、国民のニーズが高い。 ・看護職員の資質向上のための研修は「看護師等の人材確保の促進に関する法律」において国が財政上の措置を行うため。 ・当初見込んだ人数に実績が至らなかったため、不用が
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・最低限のコストのみを計上している。 ・補助事業の基準額は必要最低限であり、国が補助すべき以上の額については受益者負担となっている。 ・医療提供体制推進事業費補助金交付要綱に記載する当該補助事業の対象経費を交付額の算定方法に従い、算出している。 ・講師謝金等の教育研修を行うに必要な経費のみを計上している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は補助金で実施することが最も効果が高い。 ・受講者が増加していくことにより、質の向上につながっている。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業はチーム医療を推進していく中で、他職種との協働を習得する事業であり、必要な不可欠の事業である。施策の推進のため今後も執行状況等を踏まえて、事業の見直しや予算要求を行っていきたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>協働推進研修事業については、チーム医療を推進するための医師と看護師等の協働と連携を推進するための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>引き続き効率的な執行に努めていく。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第1弾:事業番号2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」 評価結果:予算要求の縮減(半額) とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだ考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると考え。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。</p> <p>○事業仕分け第3弾:事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろな議論があったので、減らす方向での対応をしっかりやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	69	平成23年行政事業レビュー	0059

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.茨城県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	5.4			
計		5.4	計		0
B.水戸済生会総合病院			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	研修にかかる検討会、研修経費	2.7			
計		2.7	計		0
C.筑波大学付属病院			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	研修にかかる検討会、研修経費	2.7			
計		2.7	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	5.4		
2	東京都	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	5.4		
3	福井県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	4.0		
4	兵庫県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	3.9		
5	福島県	研修プログラムを作成し、能力の研鑽のため研修事業を実施	1.4		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	水戸済生会総合病院	研修にかかる検討会、研修経費	2.7		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	筑波大学付属病院	研修にかかる検討会、研修経費	2.7		